

20013

Promus PREMIER の拡張実験

【目的】Boston Scientific 社製 Promus PREMIER STENT(以下 PREMIER)の STENT 径・長さを検討する。【対象】PREMIER2.25mm×16mm 1本、2.75mm×16mm、3.5mm×16mm 各2本【方法】PREMIERを大気中で1atm毎拡張させ、STENT径(バルーン外径を測定)・STENT長を計測し Compliance chartと比較する。【結果】1. Compliance chartと比較では、STENT径は2.25mm、2.75mmでほぼ同程度であった。3.5mmはN.Pで3.41mm(2.9%)、R.B.Pで3.67mm(2.7%)と拡張りにくい結果であった。2. STENT長は、N.Pで2.25mmは16.0mm、2.75mmは16.31mm(1.9%)、3.5mmは16.26mm(1.6%)。いずれのSTENTにおいても拡張とともに長くなり、R.B.Pでは、2.25mmは16.54mm(3.4%)、2.75mmは16.75mm(4.7%)、3.5mmは16.62mm(3.9%)と長くなった。【結語】1. 3.5mmは拡張しにくい傾向があり、規定径に達するにはN.Pよりも圧をかけなければならない可能性が示唆された。STENTを留置する際にはIVUS等の所見も加味する必要があると考えられた。2. PREMIERは拡張とともにSTENT長が長くなる傾向であった。その為、入口部や分岐部に留置する際は注意が必要と思われた。